

## 町内保育所へ図書カード贈呈

3月26日(月)、役場本庁舎1階くろしおホールにて贈呈式が行われ、町内4カ所の保育所に図書カードなどが贈呈されました。

今回の贈呈は、愛知時計電機(株)、門田工業、光電設(株)が社会貢献事業の一環として行い、贈呈された図書カードは絵本の購入に活用される予定です。

保育所長は「園児らの大好きな絵本を購入したい」と話しました。



贈呈式の様子



## 四万十映画祭 サテライト会場上映会

「第3回四万十映画祭」が3月23日～25日に行われ、サテライト会場として、あかつき館での映画上映が行われました。

サテライト会場での上映会は、3月17日・18日と4月7日・8日にそれぞれ行われ、3月の上映会では四万十映画祭・映像コンペティション部門へ応募された作品などを上映、また、4月の上映会では、応募された作品の中から受賞作品、特別招待作品を上映しました。

四万十映画祭は2013年、「幡多地域で消えつつある映画文化の復興を」と地元有志らが立ち上げて始まったもの。今回、幡多地域で広く取り組むこととなり、黒潮町での実現に至りました。

来場者からは、「普段観ることのない作品ばかりだったが面白かった。ぜひ続けてほしい」といった声が聞かれました。



## 春の蜷川ぐりーんぐりーん

4月14日(土)、新緑の芽吹くなか「春の蜷川ぐりーんぐりーん」が開催され、町内外から41名が参加し、蜷川地区の春を楽しみました。

集落活動センターであいの里蜷川に集合し、バスで蜷川地区・川の内まで移動した一行は、米原まで約4キロの行程を歩いた後、バスで同センターに帰り、手作りの花見弁当を食べました。

昨年、集落活動センターの活動の一環として始めた同イベントでしたが、2回目となる今回は、高知大学地域協働学部を中心に同センターとの共催で開催されました。

同大学3年生の上田祝しゅくさんは「地域の方の多くの笑顔が見られたので、次は3世代で楽しめる川遊びなどのイベントも企画していきたい」と意気込みを語っていました。



季節の草花を楽しむ参加者

## 自然服マルシェ開催

3月10日(土)・11日(日)、佐賀地域・熊野浦地区にて、ゲストハウスまるある主催の自然服マルシェが開催され、アートワークショップや音楽コンサートなどが行われました。

アートワークショップでは、子どもたちがダンボールで作品を作り、自然の中で遊びました。

また、会場では手作り品の販売や珈琲、紅茶の出店などがあり、来場者は「自然の中のマルシェはとても心地がいい」と話していました。

11日(日)に行われた音楽コンサートでは、平成23年に発生した東日本震災の地震発生時刻に合わせ、犠牲者への哀悼の意を表する黙祷が行われ、参加者はキャンドルを囲んで祈りをささげました。

町内から参加した女性は、「地震や津波の心配がある黒潮町で黙祷を捧げることは、とても意味があるように感じた」と話していました。



音楽コンサートの様子